

Lesson12

副詞/彼はいつも超ムカツク(^^)

He is always extremely annoying

副詞にはいろいろなタイプや用法があります。多くの種類があるので、個別に覚えていくのは大変です。そこで、**副詞**を用法別に考えると、理解しやすくなります。**動詞**を修飾する用法、**形容詞**を修飾する用法、さらに**副詞**を修飾する用法などがあります。**He is always extremely annoying.** 「彼はいつも超むかつく。」では2つの異なるタイプの**副詞**を使っています。

このレッスンを受講することで代名詞について理解できます。

Topics

副詞/ He is always extremely annoying

- Topic1 副詞の用法
- Topic2 副詞の形と代表的な副詞
- Topic3 文の流れを説明する副詞
- Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



He is always extremely annoying

■ Topic1

副詞の用法

副詞は動詞、形容詞、副詞、名詞、文、文の流れなどを修飾する品詞で、たくさんの役割があります。副詞とは他のどの品詞にも分類できなかった単語のことを呼ぶ総称のようなものです。そのため、副詞には多くの異なる用法や意味があります。また、副詞の位置は用法により文頭・文中・文末の3通りがあります。どの位置に副詞をおくかは副詞や文の意味、話者の意図などにより変わることがあります。

●動詞を修飾する副詞

I read the book carefully. 「私はその本を注意深く読みました。」

read 「読んだ」(動詞) を修飾する **carefully** 「注意深く」(副詞) が文末についています。

The telephone operator spoke slowly. 「その電話交換手はゆっくり話しました。」

spoke 「話した」(動詞) を修飾する **slowly** 「ゆっくり」(副詞) が文末についています。

I enjoy playing tennis very much. 「私はテニスをすることをとても楽しんでます。」

very much 「とても」(副詞) が **enjoy** 「楽しむ」(動詞) を修飾しています。

The topic was thoroughly discussed. 「その話題については議論がし尽くされました。」

thoroughly 「徹底的に」(副詞) が **discussed** 「議論された」(動詞 discuss の過去分詞) を修飾しています。

注意：受身形の場合、副詞は **be 動詞** と **過去分詞** の間に入ります。

注意：副詞が動詞を修飾する場合は **自動詞** の場合は **動詞の後**、**他動詞** の場合は **目的語の後ろ** または **動詞の前** に付けることが多いです。

自動詞： **She walked carefully.** 「彼女は注意深く歩きました。」

他動詞： **He cleaned the room carefully.** 「彼はその部屋を注意深く掃除しました。」

He carefully cleaned the room. とすることもできます。

●場所・時間を示す副詞

Let's meet here. 「ここで会いましょう。」

場所を意味する **here** 「ここで」(副詞) が **文末** についています。

The meeting will be held tomorrow. 「その会議は明日行われるでしょう。」

時を意味する **tomorrow** 「明日」(副詞) が **文末** についています。

注意：場所を意味する副詞は **文末**、時を意味する副詞は **文頭** か **文末** に付けることが多いです。

●頻度をあらわす副詞

We usually eat lunch after one o'clock. 「私達はふだん1時過ぎに昼食を食べます。」

頻度を意味する **usually** 「ふだん、ふつうは」(副詞) が**動詞の前**についています。

注意：**頻度の副詞**は **always** 「いつも、必ず」、**usually** 「ふだん、ふつうは」、**often** 「しばしば、よく」、**sometimes** 「時々」、**seldom, rarely, hardly ever** 「滅多に～ない」、**never** 「決して～ない」などがあります。

注意：**頻度の副詞**は**動詞の前**につけることが多いですが、**be 動詞**や**助動詞**がつく場合はその**後ろ**につけます。**完了形**の場合は **have/has/had** と**過去分詞**の間につけます。

●形容詞を修飾する副詞

This computer was extremely cheap. 「このコンピュータはすごく安かったです。」

cheap 「安い」(形容詞) を修飾する **extremely** 「すごく」(副詞) が形容詞の前についています。

That is a very good idea. 「それはとても良いアイデアです。」

good 「良い」(形容詞) を修飾する **very** 「とても」(副詞) が形容詞の前についています。

注意：基本的に**副詞**が**形容詞を修飾**する場合はその**形容詞の前**につけます。

●副詞を修飾する副詞

I woke up very early. 「私はとても早く起きました。」

very 「とても」(副詞) が **early** 「早く」(副詞) を修飾しています。

注意：**副詞**が**副詞を修飾**する場合はその**副詞の前**につけます。

●文を修飾する副詞

Unfortunately, we have to leave. 「残念ながら、私達は行かなくてはなりません。」

通常、**文全体を修飾**する **unfortunately** などの副詞は**文頭**におきますが、**文末**におくこともあります。

■ Topic2

副詞の形と代表的な副詞

一般的に"**形容詞 + ly = 副詞**"となります。

careful 「注意深い」(形容詞) + **ly = carefully** 「注意深く」(副詞) ,

slow 「ゆっくり」(形容詞) + **ly = slowly** 「ゆっくりと」(副詞)

ただし、**形容詞**と同じ形の**副詞**や **ly 語尾ではない副詞**もありますので注意して覚えておく必要があります。

形容詞と同じ形の副詞 : **early** 「朝早く、初期に」、**fast** 「速く、速い」、**hard** 「熱心に、熱心な」、**late** 「遅い、遅くまで」、**long** 「長い、長く」 など

ly 語尾ではない副詞 : **abroad** 「外国で」、**overseas** 「海外に」、**downtown** 「商業地区へ、町の中心部へ」、**overtime** 「時間外に」、**outside** 「外に」、**inside** 「内側に」 など

注意 : **ly** 形なのに副詞ではなく形容詞という単語があります。例 : **friendly** 「友好的な」、**lonely** 「ひとりぼっちの」、**curly** 「巻き毛の」 など。

■ Topic3

文の流れを説明する副詞

今まで出てきた以外に**文の流れを修飾する副詞**もあります。**文の流れを修飾する副詞**には**理由・結果の副詞**、**肯定・否定の副詞**、**譲歩の副詞**があります。文の流れを修飾する副詞は文頭や節の頭に來ることが多いですが、副詞や文の意味、話者の意図などにより位置が変わります。

- **理由・結果の副詞** : **therefore** 「それゆえ」、**consequently** 「その結果」、**so** 「そのように」

We were busy. Therefore, we hired more employees. 「私達は忙しかったのでもっと従業員を雇いました。」

The product was defective. Consequently we had to cancel our order. 「その商品には欠陥がありました。その結果私達は注文をキャンセルしなくてはなりませんでした。」

Our plan is so decided. 「私達の計画はそのように決められた。」

●肯定・否定の副詞： yes 「はい」、no 「いいえ」、not 「(～で) ない」、indeed 「本当に、実際は」、certainly 「確かに」、perhaps 「ひょっとしたら、おそらく」、maybe 「たぶん」など。

a: **Can I use your computer?** 「あなたのコンピュータを使っても良いですか？」

b: **Yes, you can.** 「はいどうぞ。」

This plan is not well developed. Indeed, there are many problems.

「この計画はよく練られていません。それどころか、問題がたくさんあります。」

She is certainly smart. 「彼女は確かに頭が良いです。」

Perhaps, I can help you tomorrow. 「多分、明日あなたを手伝えます。」

●譲歩の副詞： anyway 「とにかく」、anyhow 「とにかく」、however 「しかしながら」、nevertheless 「それにも関わらず」

Anyway, this is what we have agreed upon. 「とにかくこれが私たちが合意したことです。」

I understand your point. However, I don't think that is the best solution.

「あなたの言いたいことは分かりました。しかしながら、私はそれが最良の解決策とは思いません。」

スコアアップ!

(DVD 版のみ収録)



例題 : The members tried _____ to solve the problem.

- a. hard
- b. hardly

a hard 「一生懸命」を入れると文がなりたちます。**b. hardly** は「ほとんど~ない」の意味なので文が成り立ちません。**hard** と **hardly** のように混乱しやすい副詞は一緒に覚えておくの良いです。**late, lately** も混乱しやすいので覚えておくの良いです。

	例文
hard 「一生懸命」	He is working hard to pay the debt. 「彼は借金を返すために一生懸命働いています。」
hardly 「ほとんど~ない」	I can hardly hear you. 「あなたの言うことがほとんど聞こえません。」
late 「遅く、遅れて」	She worked late last night. 「昨晚彼女は遅くまで働きました。」
lately 「最近、この頃」	I haven't heard from John lately. 「最近ジョンから連絡がありません。」

注意 : 通常、**lately** は現在完了形と共に使います。

The members tried hard to solve the problem.

「そのメンバー達はその問題を解決するために一生懸命努力しました。」

留学する

留 **He studied abroad.** 「彼は留学しました。」のように **study abroad** が「留学する」の意味で使われます。よく見ると単に **study abroad** は **study** 「勉強する」(動詞) と **abroad** 「外国で」(副詞) からできているので、直訳すると **He studied abroad.** は「外国で勉強した」という意味になります。そのため「彼は米国に留学しました。」を **He studied abroad in the United States.** とすると「彼は米国で外国で勉強しました。」という冗長した表現になってしまいます。これならば単に **He studied in the United States.** とするほうが良いです。このように日本語と英語の表現の間に少しずれがあることはしばしば(**often**)あるので、本当はどのような意味になるのか考えてみる事はとても(**very**)役立ちます。時々(**sometimes**)、考えてみてくださいね。

コーヒーブレーク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- 副詞の種類はさまざま。
- 形容詞 + **ly** = 副詞 となることが多い。
- 副詞の位置は文頭・文中・文末の3通りがある。



He is always extremely annoying.

「彼はいつも超ムカつく(^^)」

頻度の副詞

always 「いつも」

形容詞を修飾している副詞

extremely 「とても」

主語 代名詞

He 「彼は」

述語動詞 be 動詞

is 「です」

補語 副詞 + 副詞 + 形容詞

always extremely annoying 「いつも非常に気に障る」

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. An employee may receive a warning letter for coming _____ to work more than twice.
 - a. late
 - b. lately
 - c. lateness
 - d. later
2. Their financial situation is _____ severe.
 - a. extreme
 - b. extremely
 - c. extremist
 - d. extremism
3. Workers should _____ wear protective equipment to prevent possible health hazards.
 - a. always
 - b. seldom
 - c. good
 - d. never

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. Participants seemed to be working on the projects _____.
 - a. care
 - b. careful
 - c. carefully
 - d. very much
2. The marketing department was able to launch a new promotional campaign very _____.
 - a. smooth
 - b. smoothly
 - c. smoothness
 - d. smoothen
3. Some members from our research team will be sent _____ to study the current trends in electronic engineering.
 - a. abroad
 - b. oversee
 - c. foreign countries
 - d. foreign currencies

Explanation - Practice

1. An employee may receive a warning letter for coming late to work more than twice.

「従業員は2回より多く仕事に遅刻すると警告書を受け取ることがあります。」

解説 : **a. late** 「遅れて」(副詞) が答えです。late には「遅い」(形容詞) もありますが、ここでは **come late** で「遅刻する」という意味で使われています。動詞を修飾する副詞の用法です。なお、このレッスンで学習したように、late は形容詞と同じ形を取る副詞です。一般には形容詞+ly で副詞の形をとるものが多いですが、**lately** の場合は、「最近の」と、別の意味になるので注意が必要です。解答選択肢に **b. lately** 「最近の」(副詞) がありますが、この場合は意味が通りません。 **c. lateness** 「遅れること」(名詞)、**d. later** 「もっと遅い」(形容詞の比較級)、「後ほど」(副詞) では意味が通りません。

2. Their financial situation is extremely severe. 「彼らの財務状況は非常に深刻です。」

解説 : **b. extremely** 「極端に、非常に」(副詞) が答えです。extremely が severe を修飾して「非常に深刻な」という意味になっています。severe は「厳しい、深刻な」という形容詞です。形容詞を修飾する副詞の用法です。形容詞を修飾出来るものとして適切なものを選ぶのがポイントです。

a. extreme 「極端な」(形容詞)、**c. extremist** 「過激主義者」(名詞)、**d. extremism** 「過激主義」(名詞) では severe (形容詞) を修飾することはできません。

3. Workers should always wear protective equipment to prevent possible health hazards.

「作業員は起こり得る健康被害を防ぐために常に保護具を着用しなければなりません。」

解説 : **a. always** 「いつも、必ず」(副詞) が答えです。選択肢には always 以外にも副詞がありますが、意味から推測すると always が最良です。また、助動詞の should と、動詞の wear の間に下線があることから、助動詞と動詞に間に入れられるものという観点から推測することもできます。このレッスンで学習したように、頻度を表す副詞は、助動詞や be 動詞の後に入ります。

b. seldom 「滅多に~ない」、**d. never** 「決して~ない」は両方とも頻度の副詞ですので構成としては入れることは可能です。でも、**b. seldom** 「滅多に~ない」を入れた場合は「保護具は滅多に着用しない」、**d. never** 「決して~ない」を入れた場合は「決して保護具を着用しない」という意味になり両方とも不自然です。また、**c. good** 「良い」(形容詞) は wear (動詞) を修飾することはできません。

Explanation - Homework

1. Participants seemed to be working on the projects carefully.

「参加者たちはそのプロジェクトに注意深く取り組んでいるようでした。」

解説 : **c. carefully** 「注意深く」(副詞) が答えです。work on ~ 「~に取り組む」(動詞) を修飾しています。副詞を文末に置き、動詞を修飾しています。

a. care 「心配」(名詞)、「気にかける」(動詞)、**b. careful** 「注意深い」(形容詞) は動詞を修飾できません。**d. very much** 「非常に」(副詞) は程度を表す副詞なので、ここでは意味が通りません。

2. The marketing department was able to launch a new promotional campaign very smoothly.

「マーケティング部は新しい販促キャンペーンをとてスムーズに開始することができました。」

解説： **b. smoothly** 「スムーズに、滑らかに」(副詞) が答えです。 **launch** 「開始する」を修飾することができる副詞を選ぶのがポイントです。

a. smooth 「スムーズな、滑らかな」(形容詞)、 **c. smoothness** 「滑らかなこと」(名詞)、 **d. smoothen** 「平らにする、滑らかにする」(動詞) は動詞を修飾することができません。

3. Some members from our research team will be sent abroad to study the current trends in electronic engineering.

「私達の研究チームの中から数名のメンバーが電子工学の最近のトレンドを研究するために海外に派遣されるでしょう。」

解説： **a. abroad** 「海外に」(副詞) が答えです。 **be sent abroad** で「海外に派遣される」という意味です。 **sent** (動詞・**send** の過去/過去分詞形)に付けられる単語を選ぶのがポイントです。

b. oversee 「監督する」(動詞) は **overseas** 「海外に」(副詞) と似ているので注意が必要です。 **overseas** ならここに入れることができますが、動詞をここに入れることはできません。 **c. foreign countries** 「外国」(名詞) は前に **to** (前置詞)があれば入れることができます。 **d. foreign currencies** 「外貨」(名詞) は入れることはできません。